



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

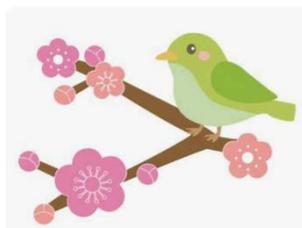
発行2025年2月1日

2月 276号

奈良・人と自然の会



<ならやま・雪の朝 >



Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



初出式・10年継続会員表彰レポ	1	奈良・人と自然の会に入会して10年	7
ならやまプロジェクト	2	海外ボランティア（パラグアイ）15	8
Monthly Repo ならやま	3	ギャラリー	9
里山の今（景観、パトロール）	4	行事案内	10
里山の今（虫だより、花だより）	5	幹事会報告、行事予告	11
令和7年新春交流会／懇親会レポ	6		

初出式

10年継続会員記念植樹式

有元 康人

初出式の朝は、辺り一面が白くなるような雪の中でした。火おこしや炊き出しの準備をしましたが10時頃には晴れてきて、今年1年の門出にふさわしい日和になりました。参加者は56名と例年より少なめでした。



初出式

千載会長の挨拶の後、餅つきや七草粥の炊き出しが始まりました。セイロや七草粥の釜から湯気が立ち上がり、ならやまの新しい1年を迎える、活気のある風景が広がりました。



蒸したもち米を臼に入れ、慣れた会員が粘りを出すため杵でこね、巳年の年男、年女から順番に餅を搗き、4臼の餅が搗きあがりました。昼に近づくと七草粥も出来上がり、餅を手際よ

く食べやすい大きさにちぎり、黄粉餅やおろし大根餅、手土産用の赤米餅が出来上がり、全員で美味しくいただきました。



10年継続会員記念植樹式

今年の10年継続会員対象者は、井上文雄、内河洋文、平山義正、平山美津子、山内京子、山本美智子さんの6名です。

千載会長の挨拶の後、対象者4名の参加者が紅白のリボンの付いたスコップを手に植樹です。ベースキャンプ奥の日当たりの良い場所に、南米原産のフェイジョア(フトモモ科の常緑低木)を植えました。(3~4年後に実をつけるそうです)



その後、4名の方が順番に思い出やこれからの抱負などを語り、記念写真を撮って、初出式の行事は終了しました。

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

新しい年、ならやまの活動は9日、雪が舞う中、立派に飾られた一対の大門松とベースキャンプ正面のしめ縄に見守られてスタート。今年こそ事故ゼロでと願う。

1月18日の新春交流会では、これからの活動について時間が足りないほど意見が続出。高齢化、パワー不足が進む中で、協力しあうことの大切さが改めて確認された。仲間への尊敬と感謝のもと、力を合わせることで脱皮・再生して見えてくる新しい景色は、さらにゆったりとした私たちにふさわしいものであってほしい。

今月は今年初めてのイベントで子供たちを迎える。しっかりと準備してたくさんの笑顔が見たい。植菌されるシイタケは2年後、植樹されるコナラ・クヌギは20年後につながる。



残り柿と山茶花のコラボ
(ビオトープの西端 1月23日)

2月の活動特記事項 活動日：6(木)，13(木)，22(土)，27(木)

2月6日(木)：協働活動(アダプトプログラム・苗木の植樹用穴掘り)

2月15日(土)：シイタケ菌打ち・植樹イベント 雨天順延(16日(日))

2月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	シイタケ菌打ち・植樹イベントの準備 (檜木の切り出し、苗木掘り起こし、植樹場所の特定と穴掘りなど) コナラの伐倒、薪材切り出し、薪割り
エコファーム	豆類の支柱立て、冬野菜収穫、ジャガイモ植え付け、 冬野菜畑の跡地整備、春まき畑の準備、水田の整備 鹿対策ネットの整備
景観	整備：竹林の整備、チップ作業 ビオ：水田周りの水路の整備、池・水路の景観保全・整備 花：道路沿い花壇・あじさい園の草引きと寒肥
パトロール	1~3コースパトロール、観察路整備
果樹	コンポスト柵作りと材料(落ち葉、刈草、竹チップ、鶏糞など)の投入 実りの森の土壤改良

活動日：第4土曜日およびその他の週の木曜日 9:00~15:00

前日の17時発表の気象庁予報(NHKTV(奈良)19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



Monthly Repo. ならやま

富井 忠雄

12月26日(木)曇り 68名

今年最後の活動日、掃除、整理、新年の準備などを行い、昼頃に解散。里山Gが中心となって作られた門松が整い、池山さん手製のしめ縄も飾られ迎春準備が整った。

里山Gは門松作り、ミニ門松の材料の配布、薪の積込み、賄用の道具の清掃など。エコGは畑へのチップ撒き、小屋周辺の清掃と整理、大根などの野菜の収穫。景観Gは倉庫の掃除と備品の棚卸、第3駐車場の法面の除草と竹の刈込みなど。花班は名札立て、倉庫内片付けなど。パトロールGは観察路2コースのパトロール、テント倉庫内の整理、エントランス広場の花壇の植込み、緑陰広場の橋の改修など。果樹Gは実りの森の清掃、倉庫の整理など。

1月9日(木)雪 56名

朝から時折雪が舞い、初出にとしては参加者が少なかった。餅つきによるつきたての餅と七草粥が提供され、新春を祝うとともに、昼から10周年継続会員による記念植樹を行う。干支づくりの材料が鈴木さんから提供された。一昨日の強風でBCのテントが破損した。



里山Gはコナラの玉切、椎茸の収穫、薪割り、餅つきなどの手伝い。エコGはチップ運びと畑

の耕耘、大根、赤かぶなどの収穫、初出式の手伝いなど。景観Gは竹林整備、道路沿いの側溝の掃除、整備、餅つき、植樹の手伝いなど。花班はBC周りの掃除、餅つき、七草粥の手伝い。ビオ班はBC前の道路側溝の掃除、初出式、植樹祭への参加。パトロールGは観察路1コースのパトロールと観察路の点検、花壇の水やり、初出式の手伝い。果樹Gは実りの森の掃除、梅の剪定の準備、初出式の協力など。



1月16日(木)晴 69名

門松やしめ縄などの片づけを行う。

先週提供された材料で会員によって作られた干支(巳)人形が勢ぞろい、披露された。

里山Gは門松の後片づけ、コナラ玉切り、植樹用の竹の支柱作成、間伐する松の選定、薪割り。エコGはマルチ敷き、エンドウ苗の移植、除草後の畑の整備、水田東側竹置場の整備、大根、白菜、小かぶなどの収穫。景観Gはチップ一機で伐採竹の処理を行う。花班は山野草園の草引きなど。ビオ班は、水路掃除、落ち葉集め、西池北水田の改修、ビオエリアの樹木の剪定、雑草の刈取り、北水田東側水路の土手修理など。パトロールGは観察路2コースパトロール、観察路整備、緑陰広場の橋の補修、BCのテントの張替え、花壇の水やり、工作材料作り、佐保川小学校学習支援の打合せなど。果樹Gは講師の新田さんを招き、梅の剪定の講習会とBC周辺の梅の剪定を行う。

景観グループ

彩りの森の整備

永井 幸次

2013年、ヤクシマオナガカエデを63本、道沿いには山桜を25、6本植樹したことにより、各々の場所は彩の森と名付けられた。

だがこの場所は、もともと田んぼで水はけが悪く、根腐れを起こして倒れた樹木が多数あり、今ではヤクシマオナガカエデは24本、山桜は22本で植樹当時よりも少ない状態だ。

また、景観整備として草刈りを10数年やっている。彩の森の草刈りを始めた頃は所々にスマレ、ヘビイチゴやオオイヌノフグリが群生していたが、最近は見かけなくなった。

彩の森の草刈りをやっているとき、徳地さんと彩の森らしくするにはどうすればいいか話をした。「休憩するためのベンチがあればいいのではないか。あと芝桜か花でも植えてみたら彩もあっていいかもしれない」という話になった。そこで西谷さんに花壇を作りたいと相談すると、応援するのでぜひそちらでやったらという返事があり、小さな花壇を作りマリーゴールドを植えてみた。さらに、里山Gに頼んでベンチを作ってもらいました。



その後、県からももらったパンジーを植えたり、30cmほどの楓とシャクナゲを植えたりしたが4、

5日ほどで鹿に食い荒らされてしまった。彩の森らしくするには鹿の食害がある限り難しく思えた。ただ、道路側の斜面に植えた水仙、ベンチの後ろのシャガは無事だった。ベンチに座って彩の森を楽しめるように、今後も草刈りなどの手入れは続けていきたいと思えます。



パトロールグループ

なぜか虫に好かれるわたし！

東 明美

私はこれまで種々の虫が寄ってきてやられている。その中できつかった「チャドクガ」と「マダニ」の体験を少し。

*チャドクガ・・・毒は恐ろしや！

ツバキ、サザンカ、茶の木につく危険毒虫で山だけでなく街中の公園でも発生する。平城山でも刺された人はおられると思う。

卵から成虫までずっと毒針を持つ。毛虫は、0.1ミリの毒針毛が50万本以上ある。直接毒針に触れたり、目に触れたりしなくても風で吹かれて服の間に入ってもやられる。

私は京都の新京極の街中の公園で休憩した時にやられたらしい。わきの下あたりを刺された時は気が付かず2、3日してから発赤と痒みが出た。それが、日を追うごとに上半身が真っ赤になって耐えがたい水ぶくれや腫れと痒みと痛みに眠れず苦しんだ。

皮膚科に1か月以上も通って治療した。

刺された時に気がつけばセロテープ等で針を取り除き患部を流水で洗い冷やす。ステロイド剤などを塗る。

*マダニ・・・私にくいつくマダニ発見！

山にはどこにでもいる大型のダニ。私は、太ももに食いついているマダニを見つけポロっととれ皮膚科で「マダニやね」と言われた。吸血して満腹になると皮膚からとれる。発赤や痒みもなく助かったが、友達は腕に食いつかれて皮膚科で取った。感染症があり要注意の虫です。帽子・長袖・手袋で皮膚を出さずに被害を防ごう。



虫だより



花だより

春を待つ昆虫たち

菊川 年明

厳寒のこの時期、野外で成虫態の昆虫を見かけることはほとんどありませんが、いろいろなところで昆虫は冬越しをしています。ならやまで実際に観察した昆虫についてご紹介します。

※草の根元などに潜んでいる昆虫

ナナホシテントウ、イタドリハムシ、ツチイナゴなどです。彼等は穏やかな日には草の上などに出てきています。写真は上：イタドリハムシ 下：ツチイナゴです。



※朽ち木や樹皮下に潜んでいる昆虫

オオオサムシ、マイマイカブリ、オオクチキムシ、ウバタマコメツキ、オオスズメバチ、オオトビサシカメなどが朽ち木の中や樹皮の下などに潜んでいます。オオスズメバチで冬籠もりしているのは新しい女王バチだけで、その他は既に死滅しています。写真は上：オオスズメバチ(朽ち木の中) 下：オオトビサシガメ(スギの樹皮下)です。



※木の葉の裏、落葉の上などに潜んでいる昆虫

木の葉の裏や落葉の上などで冬を過ごす昆虫は数種のタテハチョウ、テングチョウ、クロコノマチョウ、シジミチョウの一部、キタキチョウなどです。写真はキタキチョウです。



※その他

建物内に入り込み越冬する昆虫もあります。

冬芽(ふゆめ・とうが)

坪井 都子

今、季節は冬。落葉の樹木はすっきりした姿の樹形を見られるだけでなく、冬芽との出会いという楽しみもあります。

「ならやま」で見られる冬芽は、オニグルミ・アカメガシワ・アベマキ・コシアブラ・タカノツメ・カラスザンショウ・ネジキ・種々のサクラ等々々です。花も葉もない枯れたように見える枝を手にとると春を待ちわびる小さな冬芽が個性豊かに並んでいます。そもそも冬芽とは、

来たる春に備えて用意しておく葉っぱや花の芽のことです。樹木は寒く乾燥した冬をのり超えるための工夫をして、その身を



を守っています。冬芽には葉だけが出てくる葉芽(はめ)、花が咲く花芽(はなめ)、両方が混じっている混芽(こんが)の3種類があります。

(上はサクラの芽の断面図)

「頂芽」は伸びてきた枝の先端に作られた芽で普通「側芽」より大きいです。また「葉痕」は時に顔のようで面白く可愛いです。



← カラスザンショウの冬芽と葉痕

↑ オニグルミの冬芽と葉痕

ちなみに「三大美芽」はネジキ・コクサギ・サイフリボクといわれています。

*写真資料；「Microsoft Bing」等から

新春交流会レポ

太田 和則

「新春交流会」

開催日：令和7年1月18日(土曜日)

時間：13:00～15:00 前後

場所：奈良市中部公民館

議題：更なる高みを目指して

参加者：36名

最初に千載会長より「会の流れと成熟期の舵取りの困難さを思い、平均年齢喜寿となった今、加えて会員減少によるマンパワーの減退は避けようがないのが現実。このままの状態では『次の高みを目指せるのか』皆で進む為の語り合いができればと願っています」と発声がありました。

今回の司会進行役は田中さん。

事前の交流会の案内の通り“これってどうゆうこと、どうしたら良い、皆で考えてみよう”ということで、交流会がスタートしました。



<交流会会場>

“行きたいと言にくい現実があり何か方法はないか”といった様々な意見が出ました。また体験会、積極的招待等の交流促進策の実施、得意分野の機能で他グループの応援を促進と協働活動の充実をさせたらと積極的な意見が出されました。

<休憩>

休憩後、個別の課題について討議されました。自然教室活動の体制見直しや、見晴台(四季の丘)などの使用頻度が少ないエリア整備についても再考しましょうと結び、タイムリミット。

その他用意した議題が時間切れのため、討論

できなかった議題“会の一体感について、土曜活動について、安全対策”については継続審議と閉めた。

あっという間の時間切れ。続きは場所を変えて懇親会会場で！と少々時間超過。

15:20に閉会后、アトラクションが用意してありました。

ならやまの歌姫(Warbling White-eyes:



戸田・清原)が飛び入り出演。「花は咲く」震災復興支援ソングを披露、全員でロザミ、交流会を盛り

上げました。

「懇親会」

♪♪

急ぎ場所を新大宮駅前の一条本店に移し、こちらも予定を20分遅れ16:20より26名の参加者で懇親会が始まりました。

まず富井さんの「交流会参加のお礼と元気な一年を」と発声があり、続いて米寿を迎えられた池田さんが「ありがとう、カンパイ」と勢い良くスタート。早速ワイワイガヤガヤ。交流会の続きあり、その他いろいろ、多くはジジババの楽しい新年の内容だったようです。あっという間の2時間半！最後はこちらも米寿の中井さんが会の皆さんの健康を祈願し、“手拍子一本締め”でお開き。皆さまお疲れさまでした。

交流会並びに懇親会にご協力いただき感謝です。今年もよろしくお願い致します。

幹事 富井・太田・田中



<懇親会会場>

居酒屋 一条本店



奈良・人と自然の会に
入会して10年

ひとやすみ



山内 京子

澄んだ空気、四季折々に咲く色とりどりの花、木々の実、生き物の住む池、作物の実った畑等自然いっぱいの中で多くの皆さんと出会い活動の輪に入れたことを有難く思います。野草探し、たけのこ掘り、シイタケ栽培、稲づくり等初めてのことをたくさん経験出来て、自然の素晴らしさ、不思議も発見できました。私は米・野菜の収穫の喜びを味わいたくエコファームの活動に参加しています。

まず稲作りでは初めて田に入り佐保台小の児童と共に田植えをしました。なかなか泥から足が抜けなかったり、植え付けの深さが難しく苗が浮いてしまい手植えの苦労を体験しました。

次に野菜は、根菜、葉物、蔓もの等40種類以上の育て方を学びました。野菜作りで驚いたこと、畝を作り一粒ずつ種をまいた後を見るとアリの種を持ち去っていた。これではいくら待っても発芽するわけがない。また大根が地中で二つに分かれてる。これは土が固まっていてそこにぶつかったのか。草のカタバミも土の硬い部分より柔らかい所で大きく育っている。野菜のベッドは、良く耕し石ころ等取り去ってふかふかにしておくことが大切。

野菜が育ってくると競争するかの如く雑草が生える。少し油断すると雑草の方が背を伸ばし野菜がどこにあるかわからない。何と雑草の生命力の逞しい事か。細めな除草作業が大事だ。除草の途中、サツマイモの蔓に朝顔のような花が咲いているのを見て驚いた。種もできるの？

いろいろな厳しい環境も乗り越えて育った野菜が「ほのぼの市場」に並びます。形や大きさは様々なれど無農薬、有機栽培の野菜です。安心してお召し上がりください。これからもグループの皆さんと共に楽しみながらおいしい野菜作りに努めていきたい。

「もういくつ寝るとお正月・・・」という歌を思い出したと思ったら、あっという間に過ぎてしまった。何時の頃からか、長い休みということになってしまっているが、変わらぬものは家族が集って除夜の鐘を聞き、去りゆく一年を思い、百八つの煩惱を払い、年が明けると気分を一新し、「今年こそは・・・」と願いを込めるということでしょうか。人生を一年ごとにリセットできるお正月は誠にありがたいものです。

このお正月はいつ頃から有るのでしょうか。未だ、いつから始まったのかはハッキリしていませんが、正月は1月1日に決まっていますから、太陰暦や太陽暦と関係するののかも思っていました。でも、平安時代には存在していたらしいとのこと。

「十二月の晦の夜よみ侍りける歌に亡き人の来る夜と聞けども君もなしわが住む宿や魂なきの里」(和泉式部 後拾遺和歌)にもあるように、平安の頃は晦日からお正月にかけて「魂祭り」としてご先祖様を迎え、ともに一年の幸せを願っていたそうです。

一方、正月は年神を迎え、豊作を祈る「神祭り」だとの説もあります。どちらにしても、初詣、門松、しめ飾りなど、昔から慣れ親しんだお正月の風物詩に宗教的な意味合いが込められているのです。

また、昔は元旦毎に1年ずつ年をとる数え年が使われていましたから、正月はある意味みんなの誕生日だったのですね。

先祖を迎えて、伴に一年の幸せを願い、豊作を祈り、みんな一緒に年を取るなんていいですね。とはいっても「一年の計は元旦にあり」です。仏様の「悪い行いはせず、善い行いをして、自らの心を清く保ちなさい」という教えをかみしめてのんびりやりたいものですね。ならやまの緑を見ているとそんな気分になりませんか？

海外ボランティア活動体験記-15 パラグアイ(1997-2002)

木村 裕

パラグアイ滞在中、スペイン語をマスターするため、パラグアイ人の家庭教師(女性)に世話になりました。彼女は、日本語はできませんが、日本語のテキストを持っており、かつ多くの日本人のボランティアに教えた経験もありました。

その彼女の息子さんの結婚式に招かれる機会があったので、紹介します。招かれた日本人は生徒の3カップル(6人)、日系パラグアイ人2カップル、100人ほどのパラグアイ人です。

・一か月前に結婚式の招待状と披露宴の入場整理券が届きました。招かれた人は事前に現金ではなく、品物を贈るそうで、私たちも3日前5000円前後の品物を届けました。式当日に持参した人もいましたが。

・式の会場は町はずれにあるイギリス系のカソリック教会(日常礼拝している教会ではない)でした。開式は午後8時のため、15分前に現地に着きました。他の参加者も三々五々車に乗り合わせてほぼ同じ時間に到着。開式までの間、花婿とその両親は多くの招待者に対して挨拶回りに忙しい。

・教会内は教室方式に長椅子が並べられ、中央の通路は白いテープを張り渡した花道でした。



・時間になると、大きな白いリボンを屋根の上飾り付けた白い車に乗って花嫁(真っ白なウ

エディングドレス着用)が到着。手には白いカスミソウのブーケを持って。

参列者は長椅子に座り、新郎、その両親、花嫁の母親は祭壇の前で待機。やがて音楽に合わせて花嫁とその父親が入場し、祭壇の前にいる神父の前まで進み、横に全員整列。神父が結婚式のセレモニーをスペイン語で話すが我々にはチンプンカンプン。唯一理解できたのは「いつまでも一緒に」でした。



- ・ついて指輪の交換
- ・新郎と新婦の宣誓(紙を見ていた)。
- ・神父が神棚から取り出したセンベイ?を新郎と新婦に食べさせる。
- ・神父の言葉、参列者全員が2回唱和
- ・式典は30分ほどで終了し、花婿と花嫁は手を取り合って退場し、そのあとから両親も退場。
- ・教会を出たところで友人たちから祝福の米粒を振りかけられる。
- ・参列者が押し寄せ、お祝いの挨拶がしばらく続く。
- ・花婿と花嫁は白い車で退場。
- ・参列者も解散し、次の披露宴会場へ移動
- ・式典の行事の最中、外から舞い込んできた小鳥たちがピークパークク囀りながら飛び回っていたが雰囲気としては良かった。

結婚式はスペイン語ではカサミエント(Casamiento)と言い、語感が非常によろしいでしょう。また、披露宴などの宴会やお祭りはフイエスタ(Fiesta)と言います。



油絵 15号 春を待ってます 永井 幸次



陶芸 居眠り猫 小島 武雄



写真 厳冬の明神平銀世界 中井 弘



淡彩スケッチ 伊予北条 鹿島 菊川 年明

掲載作品はホームページではカラーでご覧いただけます。皆さまからの作品のご応募をお待ちしております。絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸・パッチワーク・切り絵・自然工作など。

行事案内



椎茸菌打ちイベントのご案内

富江 文雄

今年も「椎茸菌打ちとコナラの植樹」イベントを実施します。公開イベントとして子供たちの参加を募り、自然環境教育の一環として、下記の要領で行います。



記

1. 日時:2月15日(土)9:00-12:00 雨天の場合(前日の19時前のNHKTV天気予報で奈良県北部地方の午前中の降水確率が50%以上)2月16日に延期。
2. 場所:ならやまベースキャンプと里山
3. 内容:椎茸の菌打ち、とコナラの植樹
4. 参加者:小学校児童とその家族、及び会員の家族。
5. 持ち物:タオル、軍手、飲み物、服装は長袖シャツ、長ズボン、防寒着、歩きやすい靴。
6. 参加された家族には、コマ菌打ち済みのホダ木1本を持ち帰りいただきます。



今回は午前中のみのイベントとなりますが、例年通り大人数のスタッフが必要です、会員の皆さまのご協力をお願いします。

3月 月例研修会のご案内

高取城跡から土佐街道を歩く

富井 忠雄

高取城跡は、奈良県のマチュピチュといわれています。高取山(583.9m)山頂に築かれた典型的な山城です。南北朝以来、越智・本多・植村氏の居城として使われました。寛永7年(1640年)植村氏が入城するころには、要害堅固と美観をもつ近世的城郭が完成されました。今も残る壮大な石垣群に、日本三大山城(備中松山城・岩村城)の一つとしての当時の面影を見ることが出来ます。江戸時代には、山上の生活が不便なため、藩主や家臣の屋敷が街道筋に移され、土佐街道を中心にして城下町が形成されます。土佐という地名は、地元では飛鳥時代に都造りのために駆り出された土佐の国の人々が国に帰ることができず、故郷を懐かしんでその名をつけたものが今に伝わっているといわれています。

記

1. 日時:3月4日(火) 雨天順延5日(水)
「降水確率60%以上なら順延」
2. 集合:近鉄吉野線壺阪山駅前9:40 厳守
(車でトイレを済ませておいて下さい。)
3. 持ち物:弁当、飲み物、雨具、敷物、ストック
4. 申込先:富井忠雄
5. 行程:壺阪山駅(バス9:45)=壺阪寺 → 五百羅漢 → 高取城 → 国見櫓 → 猿石 → 植村家長屋門(武家屋敷) → 夢創館 → 子嶋寺 → 壺阪山駅 行程 約7km



2025年1月度幹事会報告

開催日：12月24日

I.はじめに

- ・12月に発生した2件の事故について報告

II.会計・総務より

- ・会員動向：会員数128名(家族12名)
会員の平均年齢は77歳を越えた
- ・会計：収支報告

III.活動・行事に関する議題・懸案・確認

1. 3ヶ月活動スケジュール検討・確認
 - ・シイタケイベントの予備日は翌日(2/16)
 - ・3月のワイワイ桜祭り参加(3/29?)
2. ならやまプロジェクト関係
 - ・1/16 協働活動(アダプトプログラム)
 - ・1/30 協働活動
(実りの森のコンポスト用落葉集め)
3. イベント関係
 - ・11/28 新そば祭り 66名参加
 - ・12/5 芋煮会 80名参加
 - ・1/9 初出式・10年継続会員記念植樹
 - ・2/15 シイタケイベントは午前中開催
菌打ち、植樹だけでいいか?

IV.助成金関係

- ・進捗状況、申請状況を確認

V.特定議題

- ・新春交流会(1/18実施)
交流会(13時~)、懇親会(16時~)

VI.広報関係

- ・会報誌の編成、執筆者の確認

VII.報告・連絡事項、その他

1. 月例研修会
 - ・12/3 忍坂街道・多武峰街道 実施報告
2. 自然教室
 - ・1/27 佐保川小学校学習支援自然教室
3. その他
 - ・救急車手配時の場所の案内方法などについて要確認

次回幹事会は1/28(火) 中部公民館 14:00



棚田のKさんが畑で急死されてから1年になる。毎週奥さまと二人で仲良く参加しておられたのに突然のことだった。奥さまいわく「主人は堆肥作りが生きがいでした」と。暑い日も寒い日もハアハア言いながらとても80代とは思えない力仕事を頑張ってくださっていた。

何年か続けて堆肥を畑に入れてくださったので、徐々に土が改良されていた。

9月のまだまだ暑い日、「この土フカフカやね～」と言いながら大根の種を蒔いた。

それから約3カ月、途中水をやったり肥料をやったり、土寄せしたりしながら収穫の時期を迎えた。大根が早く掘って、といわんばかりに頭を出している。抜いてみると、傷のない真っ直ぐな大根に育っていた。ジャガイモ・サツマイモ・里芋・・・すべてよく育った。

みんなで手探りの畑仕事1年目だったが、Kさんの堆肥に助けられた。大声でよく笑うほがらかなKさんにこの収穫物を見てもらいたかったとつくづく思う・・・



3月ならやま活動&行事予告

*ならやま活動

3/6 協働活動日

* 月例研修会

3/4 高取城跡から土佐街道を歩く

* ワイワイ桜祭り 3/29

発行：奈良・人と自然の会
 URL : <http://www.naranature.com>
 編集代表 Mail: editor@naranature.com
 編集委員：青木(幸)・尾崎・清原(加)
 柴田・千載・田中(善)・戸田

写真説明：ならやまの雪の朝(今年最初の活動日は早朝から雪が降り積もりました)